

臨床研究協力のお願ひ

一般財団法人 永頼会 松山市民病院では、下記の臨床研究 (学術研究) を行います。研究目的や方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>研究名称 超高齢化社会における地域中核病院での血栓回収療法症例の臨床的特徴</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p><u>研究の対象</u> 2020年1月から2025年8月の期間に、当院単施設でカテーテルによる脳血栓回収術を行った急性期脳梗塞の患者様を対象としています。</p> <p><u>研究対象期間</u> 対象期間: 2020年1月1日~2025年8月31日 観察期間: 2020年1月1日~2025年11月31日</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p><u>研究目的</u></p> <ul style="list-style-type: none">・該当患者様を80歳以上と80歳未満に分けて比較検討を行うことで、地域の中核病院を担う当院における治療結果をより具体的に明らかにすることを目的としています。・治療結果に関して、年齢によってどのような要素が影響しているかについて詳細に検討します。そうすることで、これから治療を行う患者さんの治療方針に活かすことができると考えています。 <p><u>方法</u> 本研究は、既に治療を行った患者さんの診療情報を電子カルテから収集します。具体的な内容については、次項目の3. 研究に用いる試料・情報の種類を御参照ください。そ</p>

それぞれのデータについて詳細に解析し、更に80歳以上と80歳未満の方に分けて比較検討を行います。

研究期間

研究期間：倫理審査委員会承認後、研究機関の長の実施許可を得てから2027年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報

以下の情報を診療記録より取得します。

- ・患者背景：年齢、性別、既往歴、術前の活動度など
- ・手術関連項目：術前の画像検査、閉塞血管の左右と部位、血栓溶解薬使用の有無、治療方法の違い(血栓吸引療法なのか、ステントを用いた治療なのか)、症状が出現してからの時間経過(搬送時、画像検査、治療開始、血管が再開通するまでどれくらい時間がかかったのか)、閉塞した血管がどの程度再開通できかどうか、合併症など
- ・治療予後：退院時と脳血栓回収術3ヶ月後の患者様の活動度

4. 個人情報の取り扱い

収集した試料・情報はインターネットか等から切り離された環境下で、名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報は、個人情報管理者が厳重に保管致します。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また保管される情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

5. 研究組織

研究統括者：小坂 洋志

研究代表者：岡崎 洋介

共同研究者：永瀬 喬之

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：脳神経外科 氏名：岡崎 洋介

住所：愛媛県松山市大手町2-6-5 電話番号：089-943-1151(代表)

研究責任者：小坂 洋志